

# 片山中防災月間～第2週の取組～

## 「災害時に役立つ英会話」(英語・高寄)

海外で災害に見舞われた、その時あなたは どうする！？  
この授業を受ければそんな問題も解決します。

災害時に英語で助けを求めることができますか？とっさの場面のその一言が自分の命や身近な人の命を救います！オリバー先生と一緒に学びましょう。

## 「ある警察官の手記」(国語・佐藤)

東日本大震災で救援活動に従事した警察官の手記を読み人物の心情を考えます

救援活動に従事した警察官の手記。書き手である警察官や手記に登場してくる人物の心情を丁寧に読みとり、それらの表現の仕方を確認しながら深めていきます。

## 「自然災害を科学する」(理科・高橋, 大賀)

災害が発生するメカニズムを科学的に正しく理解することが防災の第一歩なのです

地震の2つの型を理解する。「エネルギー保存」の観点から津波のスピードと大きさを考える。科学的思考から災害を徹底的に検証しよう。

## 「担架ありますか!？」(保健体育・奥村, 小櫻)

災害時に必要不可欠な担架をその場にあるもので作ります。

災害時、傷病者を安全な場所に運ぶときに身近な物を利用して人を運ぶ方法について学習します。

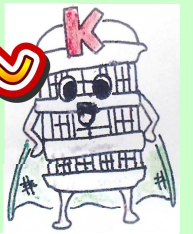
## 「枕崎台風」

(社会・胡谷)  
昭和20年の枕崎台風が呉の町に残した災害の記録に学びます。

枕崎台風による呉市の被害の実態を知り、その記憶を後世に伝えようとお地蔵様をつくった人々に思いを馳せるとともに、これから起こる災害に備えることの大切さを確認する。

# 片山中学校防災アカデミー

## ～全教科で防災学習を～



## 「関数と自然災害」

(数学・羽根, 濱崎)  
土石流や台風の風速や風圧を関数で見つめ災害の恐ろしさを数字で実感します。

土石流の速さが分かれば、どれだけの時間で自分の家に到達するか分かります。数学が自分の命や家族の命を救うのです!!

## 「手回し発電ラジオ・ライト」

(技術・岡)  
技術ではこれを5時間かけて製作してきました。

災害時の停電にはこの1台が頼りになります。ハンドルを回して発電することで使えるラジオ。しかも懐中電灯にもなるすぐれものです!

## 「やさしい日本語」(国語・上野)

災害時の情報を小さな子どもや外国人でも分かる日本語になおしてみよう。

災害時の報道や警報などの情報はとても大切なものです。でも、小さな子どもや外国人には難しすぎてよく分からないことがあります。誰にでも分かるやさしい日本語になおしていきます。

## 「防災ポスターを描く」

(美術・中原)  
すでに夏休みの課題として3年生が描きました。最優秀作品を防災月間第3週に全校生徒でちぎり絵にします。いい作品に仕上げましょう!

## 「未来へつなぐメッセージ」(音楽・小平)

東日本大震災の復興を願う楽曲の鑑賞を通して防災について学習していきます。

題材とした「未来へつなぐメッセージ」は、震災復興を願う「未来へつなぐプロジェクト～音楽の力～」の曲です。歌詞の意味や作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞していきます。

## 「日々の家庭生活で考える防災」

(家庭科・迫田, 水本)  
日々の生活の中でどんな備えが大切かを考えていきます。

自分・家族・地域を守るために、日頃からどんな備えが大切なのか。地域の人たちとの関わりなど、日常生活での防災について考えていきます。

## 「A Girl Saved Many Lives」

(英語・出木谷)  
2004年12月26日スマトラ沖地震で実際にあった英語の読み物で学習していきます。

自分たちよりも幼い少女がなぜ多くの命を救うことができたのか？私たちが今こうして学校で学んでいることの意味を見つめ直すきっかけになる読み物です。